

平成 26 年度 第 6 回
水戸市ボランティア・NPO 等との協働推進のための市民懇話会 会議の概要

日 時 平成 27 年 2 月 9 日（月） 午後 2 時～4 時
場 所 水戸市役所本庁舎南側臨時庁舎 3 階 中会議室

(1) 水戸市協働推進基本計画（第 2 次）最終案の報告

計画の最終案の報告を行い、ダイジェスト版（案）について説明した。

【主な意見】

・計画の市民への周知について

（委員） 発行部数や配布先はどのように考えているのか。ダイジェスト版と本編はセットで配るのか。

（事務局） 市内の NPO やボランティア団体、市役所の関係機関の他、協働という観点から必要となる場所に配布し、部数は 700 部を考えている。ダイジェスト版については、まだ予算措置ができていない状況で、これから検討する。当面は市のホームページを使って周知を行う。

（委員） 今年度予算が取れていないのなら、次年度印刷するなど、予定は考えていないのか。

（事務局） 次年度の予算内容は、具体的な考え方が整理できていない状況であるが、予算の中でやりくりできるよう検討する。

（委員長） 予算化の方向で考えていただきたい。

（委員） 700 部はどこに設置するのか。市役所内に置いて、市民が来庁したときに持ち帰れるようにするのか。

（事務局） 限られた部数しか製本できないので、市民に向けて配布はせず、ホームページでの掲載と、希望があれば製本したものを閲覧できるようにする。

（委員） それでは一体だれがこの計画を読むのか。市民全員がパソコンを持っているとは限らず、市民活動団体には高齢者が多い中で、ホームページによる計画の周知のみでは効果的ではないと思う。

（委員） 市民にとっては、ホームページよりも、印刷物になったものに目を通すことで、初めて情報が伝わると思う。

（委員） ダイジェスト版だけでも、コピーでいいので配布してほしい。

（委員） 協働は市民と一緒にやるものであるので、市民一人ひとりにこの計画が行き渡るように、周知の方法を検討していただきたい。

（事務局） 「広報みと」を使った計画の周知も考えている。なるべく多くの市民に知っていただけるよう工夫する。

(委員) 介護が必要な高齢者のお宅に訪問し、話を聞いたり、生活の補助を行うなどのことは、市民の力を生かせる分野だと思う。この分野で協働を生かすことで、介護施設や行政と連携して、市民が専門性のある講座を受けたり、情報提供を受けたりできる。

市内の各施設にこの計画の情報が伝わり、市民にも伝われば、市民は、自分に何ができるのかを考えることができ、施設と市民のコミュニケーション手段にもなる。団体、施設、現場にも、この計画が届くような工夫をしてほしい。

(委員) ケアマネージャーなどの専門家や民生委員にも協働の情報を伝えると、市民にも伝わっていくと思う。

(委員) 横のつながりがあると活動しやすい。日頃のコミュニケーションが大切だと思う。

(委員) まず、市民一人ひとりに、この計画が行き渡らないと次のステップにいかない。行政は、協働が現場とどう結びつくかを示し、個人の意見がどのような形なら社会に還元されるかを考える必要があると思う。

(委員) 計画の内容を説明したチラシのようなものがあれば、市民に簡単に配布でき、効果的に周知ができると思う。

・ダイジェスト版について

(委員) ふりがなを付けることはできるのか。ダイジェスト版は分かりやすくなっているが、外国人には読めないと思う。これから改善していく上で、専門用語を使わないように、どの程度までやさしい日本語にするのか、今後の課題として考えていただきたい。

(2) 協働おたすけナビの最終審議

協働おたすけナビについて、前回の会議での意見を踏まえた変更点を説明し、最終審議を行った。また、事前にいただいた意見について紹介し、他の委員にも意見を求めた。

【主な意見】

・13ページの「Plan 市民活動団体が呼びかける場合」について

(委員) 「市は、提案に対する方針と理由を団体に伝え…」とあるが、「方針と理由」とは何のことを言っているのか。

(事務局) 団体の提案に対して、市が36ページの事前調整シートで考えを整理し、協働事業として実施するか、提案制度でチャレンジするか、修正または協働事業としては実施しないかのいずれかに方針を決定して、団体に理由を示すということである。

(事務局) 13ページの囲みは、13～17ページの流れを要約している部分になっている。混乱するのであれば、「市は、…」の部分は削除してはどうか。

- (委員) 「次の手順で行います」の後に、手順の説明文が書かれておらず、結論が先に書かれているので分かりにくくなっていると思う。手順の説明を追記すれば分かりやすくなると思う。
- (委員) 8ページの「Plan 水戸市が呼びかける場合」では、「次の手順で行います」で終わっているのので、これに合わせた文言で書くと分かりやすい。
- (委員) 二つの提案方法があり、手順も少し違うため、読みやすくなる工夫をしてはどうか。
- (事務局) 意見を取り入れて、分かりやすく改善する。

・有償ボランティアについて

- (委員長) ボランティアは無償であり、1円でも払うと有償の仕事になってしまうため、「有償ボランティア」はおかしいのではないかという意見を事前にいただいている。皆様にも御意見いただきたい。
- (委員) 「有償ボランティア」は最近使われているが、ボランティアは無償であると思う。「有償ボランティア」という言葉の意味が分からない。
- (委員) ボランティアだからと言って無償だとは思っていない。日本では、無償が前提条件という考えが多いが、海外では労力を必ずしも無償で提供しているわけではない。私たちの団体は、交通費として500円程度出しており、時間と労力を使ったことに対して、できるだけ応えている。今後は、ボランティアと言えども、そのような考え方に変わっていくと思うし、一歩先に進んでも良いのではないかと思う。
- (委員) 私の団体も交通費を支給している事業があるが、まったくの無償でやっている事業もある。
- (委員) 日本では、ボランティアはすべて無償であるという考え方が多いが、それでは、長続きしないし、多くの方がボランティアに参加するためには、最低の実費は考えなければならないと思う。
- (委員) 本文には、そのような内容が書かれてあるので、このままで問題ないし、「有償ボランティア」について誤解も生まれないと思う。
- (委員) ボランティア団体は支給するお金がなく、自分達でお金を出して活動している。それに耐えられない人はやめていくが、お金以上に得られるものもある。団体によっては、実費すら支給できない場合もあるが、違いが出てくるのは当然だと思う。
- (委員) ボランティアの人は時間や労力を費やし、企業や行政はお金を出すなど、いろいろな主体が、それぞれの分野でできることをするべきである。社会貢献活動には、無償もあるし、有償もあって良いと思う。
- (委員長) 社会の動きを考えると、「有償ボランティア」が出てきても問題ないとのことで原案どおりとする。

・5ページ「協働といえるポイント」について

(委員長) 箇条書きになっているのに、文章としてつながっていることに違和感があるという意見について皆様にも御意見いただきたい。

(委員) 番号を振るのではなく、「だれが」「何に対して」「どのような」と書けば分かりやすいし、読みやすくなるのではないか。

(委員) 一文を箇条書きにした理由は何かあるのか。

(事務局) ただ文章を羅列するのではなく、ポイントを明確にするため、見せ方の工夫をしてこのようになった。体言止めにして箇条書きにする方法もある。

(委員) このままで何も問題ないし、分かりやすいと思う。

(委員) 特に気にならない。

(委員長) 意見を踏まえて、原案通りとする。

・9ページ「協働適性の検討」について

(委員長) 「協働適性」は、市が指導している立場から言われているように感じるので、「協働可能性」の方が良いのではないかという提案があったことについて、皆様にも御意見いただきたい。

(委員) 「協働適性確認シート」があるので、「適性」の方がいいと思う。

(委員) 「可能性」だと少し曖昧になるかもしれない。

(委員) このままで問題ないと思う

(委員長) 原案通りとする。

・様式集について

(委員) 41ページのActionが「改善」のままになっているので、修正してはどうか。

(事務局) 「見直し」に修正する。

(委員) 35ページに「自由メモ」とあるが、提案シートは重要なので、メモとするのは良くないと思う。団体がPRしたいことを書けるような文言に修正してはどうか。

(委員) 「備考」「つけ加えること」「特に伝えたいこと」などはどうか。

(事務局) 「PRしたいこと」ではどうか。

(委員) 単純に宣伝したいことを書かれても困るので、「特にPRしたいこと」としてはどうか。

(事務局) 「特にPRしたいこと」に修正する。

(委員) 52ページの「サービスを受けた立場」について、事業によってはサービスだと受け取られないものもあると思う。子育て情報誌の配置などは、サービスとは思にくい。

(事務局) このページはあくまでも参考なので、それぞれの事業によって、柔軟な

表現を使っていたきたい。

(委員) 「参考」と書いてあるものは言葉を入れ替えても良いもので、「様式」は市が定めているものなのでそのまま使うということなのか。「様式」と「参考」の違いが分かりにくいので、間に1ページ区切りを入れてはどうか。

(委員) ページ数の制約もあるので、横から見て分かるよう色分けをするなど、意見を踏まえながら工夫する。

(3) その他

- ・こみっとフェスティバルについて

2月21日(土)に開催するこみっとフェスティバルについて周知を行い、参加を呼び掛けた。また、こみっとフェスティバルのfacebookページについても周知を行った。

- ・情報公開について

協働の原則に基づき、会議の概要をホームページで公表することの了承を得た。